

## 米国出願クレームエディットのスズメ

～直訳クレームからの脱却を目指して～

平成28年7月14日(木) 13:30～17:00

講師 高橋 明雄 氏 グローバル・アイピー東京特許業務法人 代表弁理士  
U.S. Patent Agent (Non-Registered)



◆「まず日本語から英語に翻訳し、誤訳や訳抜けのチェックを行い、多項従属クレームを単項従属クレームにして、現地代理人に出願指示を出す。」

◆日本出願に基づいて米国出願する際のこの一連の流れに何ら疑問を抱いていない実務家の皆様に問題提起をすることが、本セミナーの最大の目的です。

◆一般に各国には独自の実務慣習が存在するため、慣習に沿ったクレームを国毎に作成することが理想的です。そのため、外国出願を行う際には、「翻訳」と「エディット」という2つの異なる作業を行う必要があります。

◆しかしながら、エディット作業の重要性に気付かず、日本の実務慣習に沿って作成された日本語クレームを直訳して外国出願を行うことが現実的には少なくありません。中には、日本語クレームを技術的・文法的に正しく翻訳することこそが外国出願業務の最重要事項であ

ると誤解している実務家もいるかも知れません。

◆本セミナーでは、日本語クレームを直訳した米国クレームの典型例(電気・機械分野)を題材として取り上げ、米国実務家や米国審査官の視点で問題点を指摘するとともに、その改善策を提案します。

### <アジェンダ>

1. 事例説明
2. 形式的エディットポイント
3. 実体的エディットポイント  
(物のクレーム)  
関係代名詞、動作動詞、主語と述語の関係、Wherein節、分詞構文、日本語PCT出願の米国国内移行、などを説明  
(方法クレーム)  
Step、ナンバリング、行為に対する限定、などを説明
4. まとめ

### <対象者>

◇本セミナーは、外国出願(特に米国出願)の権利化業務に携わる企業知財部員、特許事務所員を対象とするものです。

※本セミナーは、平成26年4月10日に開催された講義と同様の講義内容です。

◆日時:平成28年7月14日(木) 13:30～17:00

◆会場:発明会館7階 研修ルーム

◆定員:50名

◆講師:高橋 明雄 氏 グローバル・アイピー東京特許業務法人 代表弁理士  
U.S. Patent Agent (Non-Registered)

◆受講料:会員7,500円・一般9,500円(※消費税8%込み)

◆申込:FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)